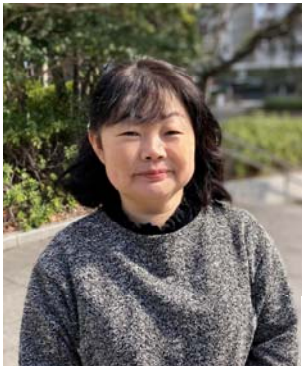


研究課題名：上皮構造からの細胞離脱による器官形成制御

～ 発生の仕組みを利用して器官作りをめざす ～



かわぐちあやの

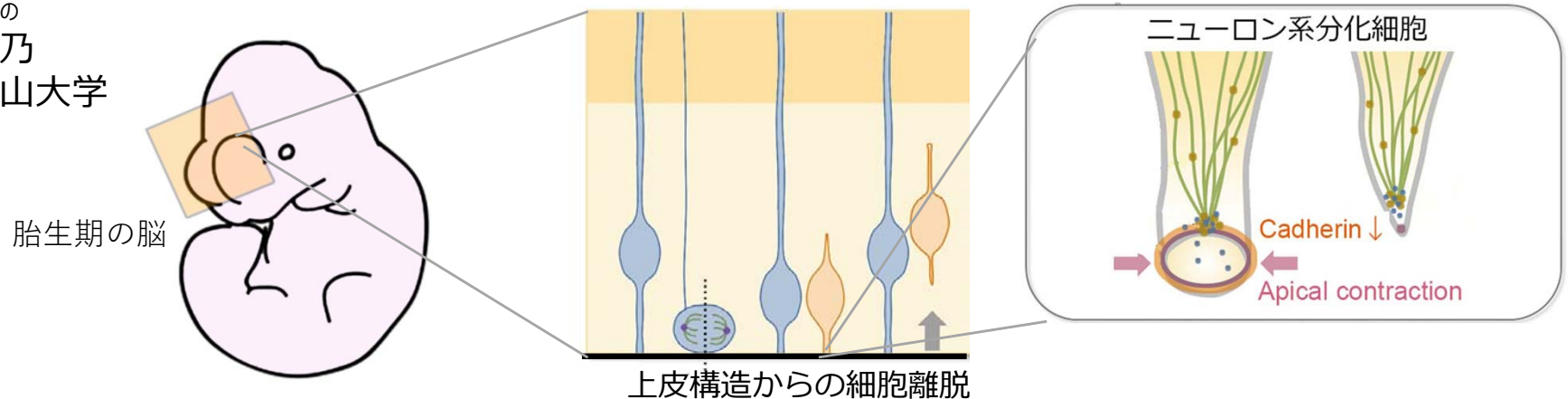
氏名：川口綾乃

所属機関：岡山大学

役職：教授

<研究概要>

体を構成する各器官が適切な機能を発揮するためには、各器官が作られる発生過程で細胞たちが適切な位置に移動し配置されることが重要です。本研究では、脳の発生を主要なモデルとして、上皮構造から細胞が離脱し移動していく際に働く実行役分子に注目し、この仕組みと器官形成における役割を明らかにします。また、神経系以外の組織や細胞で、それらの普遍性を問います。得られた成果を利用して、人工的に細胞を動かし、器官形成を制御する技術を得ることを目指します。



<略歴>

1995年大阪大学医学部医学科卒業、同年大阪大学医学部附属病院眼科、1996年～1998年国立大阪南病院眼科、2002年大阪大学大学院医学系研究科外科系専攻博士課程修了、博士（医学）取得。2002年理化学研究所発生再生科学総合研究センター研究員、2008年名古屋大学大学院医学系研究科准教授、2022年6月から岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授。